

# BUFFALO

## 取扱説明書

MD-HUSB

基本編 \_\_\_\_\_ 11ページ

応用編 \_\_\_\_\_ 18ページ

困ったときは  
Q&A \_\_\_\_\_ 40ページ

# Portable MD Player

Hi-MD  
AUDIO

Mini  
Disc

Net MD  
MDLP



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



**警告**

# 安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

8～10ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 乾電池をとりはずす/  
パソコンから専用USB  
ケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店または弊  
社サポートセンターに  
ご相談ください

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



ぬれ手禁止



分解禁止

## 行為を指示する記号



強制

### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償についてはご容赦ください。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。  
(お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会 Tel.03-5353-0336)

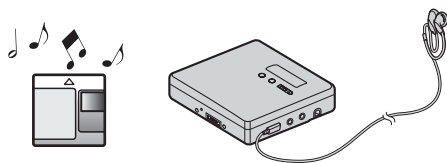
- OpenMG、Hi-MD、Net MD、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- 「BeatJam」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「BeatJam」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 「BeatJam」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows NT、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

## 本機でできることと付属のマニュアルについて

このページでは、ポータブルMDプレーヤーでできることとマニュアルについて説明しています。下記を参照して、必要なマニュアルをお使いください。

### 本機を使う

従来のMD機器で録音したディスクに加えて、Hi-MD機器で録音したディスクを再生して楽しむことができます。



### 取扱説明書（本書）

本機の操作全般について説明しています。

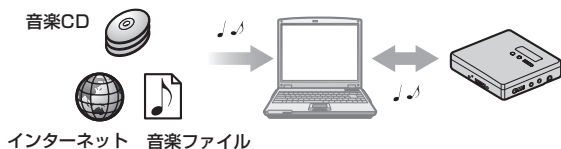
本機を操作中に問題が起きたり、メッセージが表示されたときの対処方法も記載しています。

#### ▶ 困ったことがあったとき、もっと知りたいときは

取扱説明書（本書）の「困ったときは」や「MD知っ得Q&A」（40ページから）をご覧ください。

## パソコンで付属のソフトウェアを使う

本機に付属しているソフトウェアBeatJam for BUFFALO（以後「BeatJam」と表記します）を使って、本体とパソコンの間で音楽データを転送することや本体に音楽データを録音することができます。



## BeatJamのヘルプ

パソコンを使って音楽の転送や録音するときに使用する「BeatJam」の説明をさせていただきます。

# 目次

本機でできることと付属のマニュアルについて .....	4
⚠警告・⚠注意 .....	8

## 基本編

準備する	各部のなまえ .....	12
基本的な使い方	準備する	14
	再生する	16

## 応用編

操作を始める前に	メニュー操作のしかた .....	18
	メニュー一覧 .....	19
いろいろな再生のしかた	表示窓で情報を見る .....	20
	再生モードを選ぶ .....	21
	曲を探す .....	25
	好みの音にする (6バンドイコライザ) .....	26
	表示されるメニュー項目を変更する (メニューモード) .....	28
各種設定	音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS-オートボリュームリミッターシステム -快適音量) .....	28
	確認音を消す .....	29
	ディスクごとに設定を記憶する (ディスクメモリー) .....	29
	すばやく音を聞く (クイックモード) .....	30
	ディスクモードを選ぶ (ディスクモード) .....	30
	表示窓の濃淡を調節する (コントラスト調整) .....	31
	表示窓のスクロール方向を変える .....	31
	パソコンとつないでできること .....	32
	パソコンに接続する .....	32
	音楽データ以外のデータをディスクに保存する (データストレージ) .....	34

**その他**

使用上のご注意 .....	36
主な仕様 .....	38

---

**困ったときは・Q&A****困ったときは**

故障かな?と思ったら .....	40
メッセージ一覧 .....	45

**MD知っ得  
Q&A**

知っておくと便利です .....	48
索引 .....	52



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

### 運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。  
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、パソコンから専用USBケーブルを外して、お買い上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。



### 内部をむやみに開けない

本体および付属の機器は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。



### 本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



### 金属類と一緒に本体を携帯・保管しない

コイン、キーネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。







下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

---

### 大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。



---

### はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。



# 電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

本機では下記の電池が使えます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

**乾電池**  
アルカリ

## **危険** 乾電池が液漏れしたときは

**乾電池の液が漏れたときは素手で液を触らない**  
液が本体内部に残ることがあるため、弊社サポートセンターにご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

## **警告** 乾電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 乾電池の+と-、またはと本体の乾電池ケース用の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

## **注意** 乾電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外層のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

## ご注意

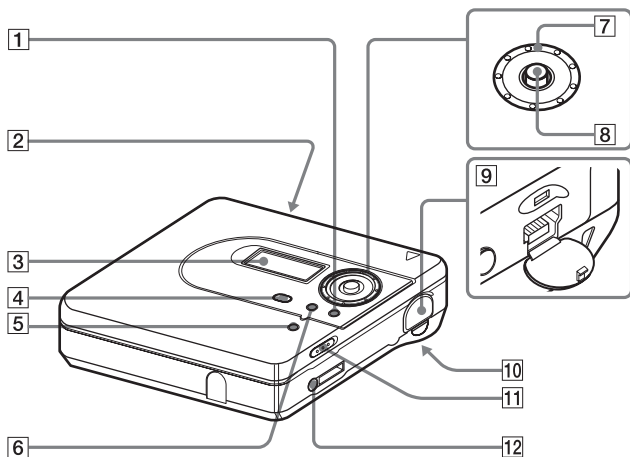
本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



# 各部のなまえ

## 本体



1 ■ (停止)・CANCELボタン キャンセル

2 OPENつまみ オープン

3 表示窓

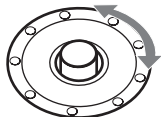
4 使用しません。

5 ● SEARCH/ ■ MENUボタン\* サーチ メニュー  
軽く押すとサーチモードに入ります。  
2秒間押したままにすると、メニュー  
設定モードに入ります。

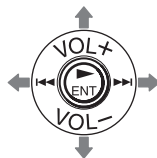
\* ●は短く押したときに使える機能で、■は  
2秒以上押したときに使える機能です。

6 || (一時停止) ボタン

7 ジョグダイヤル



8 集中コントロールキー



操作	機能
▶ <small>エンター</small> ENT*を押す	再生/決定
◀◀ 側に倒す	頭出し/早戻し
▶▶ 側に倒す	頭出し/早送り
<small>ボリューム</small> VOL +*, 一側に倒す	音量調節

\* 凸点 (突起) がついています。操作の目印としてお使いください。

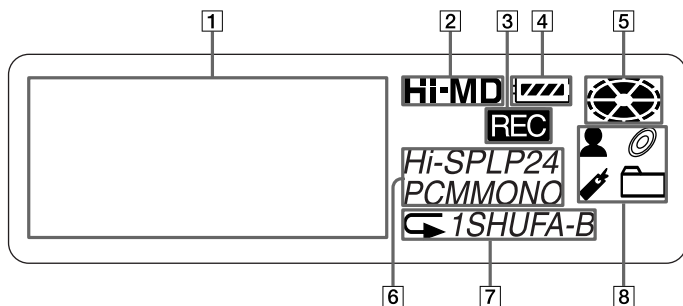
9 USB接続用ジャック

10 電池入れ (裏面)

11 HOLDスイッチ ホールド

矢印の方向にずらすと、本体の操作ができなくなります。かばんの中などに  
入れて持ち歩くと、ボタンが押されて  
誤動作するのを防ぎます。

12 〇 ジャック



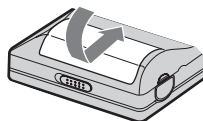
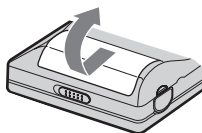
## 表示窓

- ① 文字情報表示部  
名前やメニュー項目、エラーメッセージなど、様々な情報を表示します。
- ② ハイ Hi-MD/MD表示  
本機がHi-MDモードになっているときは「Hi-MD」、MDモードになっているときは「MD」と点灯します。
- ③ 録音表示  
パソコンからのデータ転送中に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。
- ④ 電池残量表示  
乾電池の残量の目安を表示します。電池残量が少なくなると、表示が空になり点滅します。
- ⑤ ディスク表示  
再生のとき、回転します。
- ⑥ 録音モード表示 (PCM/Hi-SP/Hi-LP/SP/LP2/LP4/MONO)
- ⑦ サブ再生モード/リピート再生表示  
サブ再生モード(1曲再生やシャッフル再生など)またはリピート再生を選択したときに表示されます。
- ⑧ メイン再生モード表示  
メイン再生モード(グループ再生やブックマーク再生など)を選択したときに表示されます。

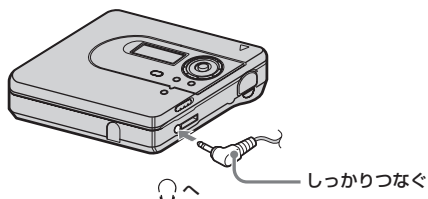
# 準備する

## 1 アルカリ乾電池を入れる

- ① OPENを矢印の方向へずらし、乾電池入れのふたを開ける。
- ② アルカリ乾電池(単3形)1本を入れる。  
下図のように必ず+側から入れる。
- ③ ふたを閉める。

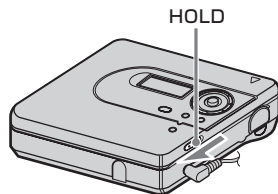


## 2 本体にヘッドホンをつなぐ



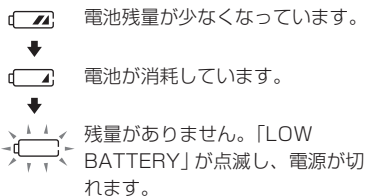
## 3 ホールドを解除する

本体のHOLDつまみを矢印と反対の方向へずらします。



## 電池の取り換え時期は

ご使用中、表示窓の電池残量表示で確認することができます。



電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況および環境により増減することがあります。

### ご注意

必ずアルカリ乾電池を使ってください。それ以外の電池では、電池の持続時間が短くなる場合があります。

## 電池の持続時間<sup>1)</sup>

### Hi-MDモードで連続再生した場合

(JEITA<sup>2)</sup>)

ディスクの種類	リニアPCM	Hi-SP	Hi-LP	MP3 <sup>3)</sup>
Hi-MD規格専用1GBディスク	約11時間	約18.5時間	約21.5時間	約20時間
60/74/80分ディスク	約9.5時間	約17時間	約20時間	約18時間

### MDモードで連続再生した場合

(JEITA<sup>2)</sup>)

ディスクの種類	SP	LP2	LP4
60/74/80分ディスク	約20.5時間	約24時間	約26時間

<sup>1)</sup> 市販の単三アルカリ乾電池使用時。

<sup>2)</sup> JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

<sup>3)</sup> 128kbpsで転送した曲の場合

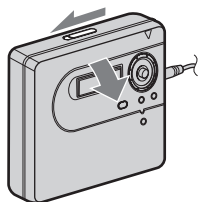
### ご注意

乾電池を交換するときは、必ず本機を停止してから行ってください。

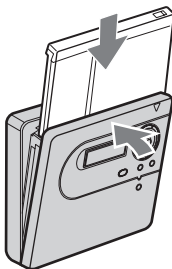
# 再生する

## 1 録音済みのディスクを入れる

- ① OPENつまみをずらす。  
ふたが開きます。



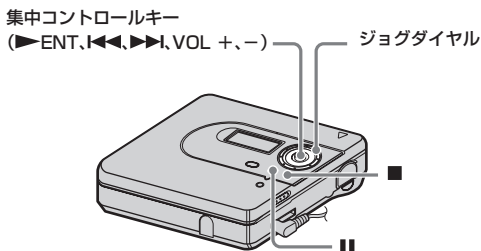
- ② ディスクのラベル面をふた側にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。



## 2 聞く

- ① 集中コントロールキーを押す(▶ENT)。

- ② 集中コントロールキーをVOL+、-側に倒して、音量を調節する。  
表示窓で音量を確認できます。



止めるには、■を押す。

次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。 停止してから約10秒後に自動的に電源がきれます。



こんなときは	本体操作
止める	■ を押す。
一時停止する	を押す。 もう一度押すと解除されます。
曲番や曲名を直接選ぶ (ダイレクト選曲)	ジョグダイヤルを回して聞きたい曲を表示させ、 ▶ ENT を押す。
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする	集中コントロールキーを ◀◀◀ 側に倒す。またはさらに戻したい曲数だけ ◀◀◀ 側に倒す。
次の曲を頭出しする	集中コントロールキーを ▶▶▶ 側に倒す。
再生しながら早戻し／早送りする	集中コントロールキーを ◀◀◀ または ▶▶▶ 側に倒したままにする。
経過時間を見ながら聞きたい場所を探す (タイムサーチ)	一時停止中、集中コントロールキーを ◀◀◀ または ▶▶▶ 側に倒したままにする。
曲番を見ながら聞きたい場所を探す (インデックスサーチ)	停止中、集中コントロールキーを ◀◀◀ または ▶▶▶ 側に倒したままにする。
ディスクの最初の曲から再生を始める	停止中、▶ ENT を2秒以上押したままにする。
ディスクを取り出す	■ を押してからOPENつまみをずらしてふたを開ける <sup>1)</sup> 。

<sup>1)</sup> ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

### ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。

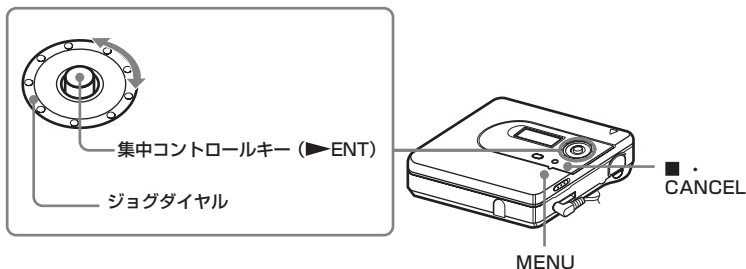
- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるディスクを聞いている場合

Hi-MDモードでお使いのディスクの場合、最大で約12秒間音が途切れることがあります。

## メニュー操作のしかた

本機では、便利な機能をメニューを使って操作します。メニューの操作は下記の手順で行います。

お買い上げ後、はじめてメニュー操作をすると、表示窓に「Menu Mode」が点滅します。お使いになる前に、メニューモードを「Advanced」（すべての項目を表示）または「Simple」（基本的な項目のみ表示）に設定して、メニューに表示される項目を選んでください。詳しくは「表示されるメニュー項目を変更する」（28ページ）を参照して、メニューモードを設定してください。



- 1 MENUを2秒以上押す。  
メニュー画面になります。



- 2 ジョグダイヤルを回して、項目を選択する。
- 3 集中コントロールキー (▶ENT) を押して、項目を決定する。
- 4 表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。  
最後に集中コントロールキー (▶ENT) を押した時点で設定が確定します。

### 1つ前の段階に戻すには

- ・CANCELボタンを押す。

### 途中で中止するときには

- ・CANCELボタンを2秒以上押す。

# メニュー一覧

設定できるメニュー項目は以下のとおりです。「Menu Mode」の設定が「Advanced」になっているときは、すべてのメニューが表示されます。「Simple」になっているときは、\*が付いているメニュー項目は表示されません。詳しくは、「表示されるメニュー項目を変更する」(28ページ)をご覧ください。

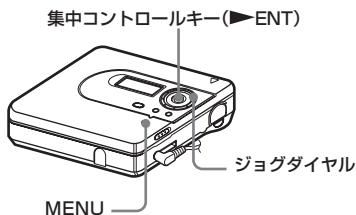
## ご注意

表示される項目は、操作状況やディスクの設定により異なります。

第一階層	第二階層	機能	参照 ページ
Display	Lap Time		
	1 Remain		
	AllRemain	再生モードなどの情報を見る	20
	Title1/Title2		
	Sound*		
Codec/ TrackMode*			
Play Mode	MainPMode	曲やグループなどの単位を選ぶ	
	SubPMode	1曲再生やシャッフル再生などの再生のしかたを選ぶ	21
	Repeat	リピート再生をする	
Sound	Normal	音質設定なしの状態にする	27
	Sound EQ	音質をカスタマイズする	26
Option	Menu Mode	メニューの表示項目を変更する	28
	AVLS*	ヘッドフォンからの音もれを抑える	28
	Beep*	確認音の設定をする	29
	Disc Mem*	ディスクの設定を記録する(ディスクメモリー)	29
	QuickMode*	すばやく再生を始める	30
	Disc Mode	ブランクディスクのディスクモード(Hi-MDまたはMD)を設定する	30
	Contrast*	表示窓の濃淡を調節する	31
Jog Dial*	表示窓のスクロール方向を変える	31	

## 表示窓で情報を見る

再生中に、表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。



1 再生中にメニュー操作で「Display」を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して確認したい項目を選び、▶ENTを押して決定する。

ジョグダイヤルを回して表示される項目は次のとおりです。

「Lap Time」→「1 Remain」→「AllRemain」→「Title1/Title2 (Hi-MD)」→「Sound」→「Codec (Hi-MD)/TrackMode (MD)」

▶ENTを押すと、選択した情報が  
A、B、C にそれぞれ表示されます。



表示されるそれぞれのマークの意味は、次のとおりです。

- 📀 : ディスク名
- 🎵 : 曲名
- 📁 : グループ名
- 👤 : アーティスト名
- 📀 : アルバム名

表示 A/B/C

A	B	C
グループ番号と曲番	経過時間	●曲名とアーティスト名 (Hi-MD) ●曲名 (MD)
●曲名とアーティスト名 (Hi-MD) ●曲名 (MD)	再生中の曲の残り時間	「1 Remain」
残り曲数	再生できる残り時間	「AllRemain」
●ディスク名とアーティスト名 (Hi-MD) <sup>1)</sup> ●ディスク名 (MD) <sup>1)</sup>	●グループ名とアルバム名 (Hi-MD) <sup>2)</sup> ●グループ名 (MD) <sup>2)</sup>	曲名
サウンドモード名 <sup>3)</sup>	選ばれている各サウンドモード表示 <sup>3)</sup>	(表示なし) <sup>3)</sup>
●コーデック (Hi-MD) <sup>3)</sup> ●(表示なし) (MD) <sup>3)</sup>	●曲の録音モードとビットレート (Hi-MD) <sup>3)4)</sup> ●曲の録音モード (MD) <sup>3)</sup>	●「Codec」 (Hi-MD) <sup>3)</sup> ●「Track Mode」 (MD) <sup>3)</sup>

<sup>1)</sup> グループに属していない曲を再生中は、曲番が表示されます。

<sup>2)</sup> グループに属していない曲を再生中は、ディスク名が表示されます。

<sup>3)</sup> メニューモードが「Simple」に設定されているときは表示されません (28ページ)。

<sup>4)</sup> MP3で可変ビットレート (VBR) の曲の場合、表示されるビットレートはBeatJamで表示されるビットレートと一致しないことがあります。

### ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

## 再生モードを選ぶ

再生モードを選んでいろいろな方法で曲を聞くことができます。再生モードは、メイン再生モード、サブ再生モード、リピート再生の3つの組み合わせで設定します。

- メイン再生モード：再生したい曲やグループなどの単位を選ぶ。
- サブ再生モード：再生方法を選ぶ。
- リピート再生：リピート再生を設定する。

集中コントロールキー(▶ENT)



ジョグダイヤル

MENU

### メイン再生モードを選んで聞く

- 1 再生中にメニュー操作で「Play Mode」-「MainPMode」を選ぶ。  
メイン再生モード選択画面になります。
- 2 ジョグダイヤルを回してお好みの再生モードを選び、▶ENTを押して決定する。  
ジョグダイヤルを回すたび **A** が次のように変わり、▶ENTを押すと **B** が表示されます。



表示 <b>A/B</b>	再生状態
Normal/ (表示なし)	通常の再生 (ディスク全曲を再生)
Group/ 📁	グループ再生 (お好みのグループの曲のみを再生)
Artist/ <b>👤</b> *	アーティスト再生 (お好みのアーティストの曲のみを再生)
Album/ <b>🎵</b> *	アルバム再生 (お好みのアルバムの曲のみを再生)
Bookmark/ <b>📌</b>	ブックマーク再生 (ブックマーク (しおり) がついている曲のみを順番に再生)

\* Hi-MDモードの場合のみ表示されます。

### 通常モードで曲を聞く (通常再生)

- 1 「メイン再生モードを選んで聞く」(このページ) の手順1と2を行い、手順2で「Normal」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回してお好みのグループを選び、▶ENTを押して決定する。  
選んだグループ内の曲の一覧が表示されます。  
ディスクにグループがない場合は、この手順は必要ありません。
- 3 ジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、▶ENTを押して決定する。  
選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、ディスクの最後の曲までを再生します。

## グループを選んで曲を聞く(グループ再生)

1 「メイン再生モードを選んで聞く」  
(21ページ)の手順1と2を行い、手順2で「Group」を選ぶ。

グループの一覧が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回してお好みのグループを選び、▶ENTを押して決定する。

選んだグループ内の曲の一覧が表示されます。

3 ジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、▶ENTを押して決定する。

選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、グループ内の最後の曲までを再生します。



グループ化されていない曲は、「Group - -」としてまとめられ、グループ一覧の最後に表示されます。

## アーティストを選んで曲を聞く(アーティスト再生)(Hi-MDモードの場合のみ)

曲にアーティスト名がついていると、アーティスト名で曲を検索して聞くことができます。

1 「メイン再生モードを選んで聞く」  
(21ページ)の手順1と2を行い、手順2で「Artist」を選ぶ。

アーティストの一覧がアルファベット順に表示されます。


2 ジョグダイヤルを回してお好みのアーティスト名を選び、▶ENTを押して決定する。

選んだアーティストの曲の一覧が、録音された順に表示されます。

3 ジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、▶ENTを押して決定する。

選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、曲の一覧の最後の曲までを再生します。



アーティスト名のついていない曲は、「 \_ (空欄)」としてまとめられ、アーティスト一覧の最後に表示されます。

## アルバムを選んで聞く(アルバム再生)(Hi-MDモードの場合のみ)

曲にアルバム名がついていると、アルバム名で曲を検索して聞くことができます。

1 「メイン再生モードを選んで聞く」  
(21ページ)の手順1と2を行い、手順2で「Album」を選ぶ。

アルバムの一覧がアルファベット順に表示されます。

2 ジョグダイヤルを回してお好みのアルバム名を選び、▶ENTを押して決定する。

選んだアルバムの曲の一覧が、録音された順に表示されます。

3 ジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、▶ENTを押して決定する。

選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、アルバムの最後の曲までを再生します。



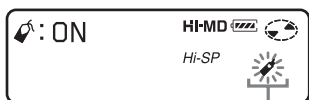
アルバム名のついていない曲は、「 \_ (空欄)」としてまとめられ、アルバム一覧の最後に表示されます。

## 好きな曲だけを選んで聞く(ブックマーク再生)

好きな曲にブックマーク(しおり)をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

ブックマークをつけるには

- 1 ブックマークをつけたい曲を再生し、  
▶ENTを2秒以上押す。



ブックマーク点滅

ブックマークの1曲目が登録されます。

- 2 手順1を繰り返してブックマークをつけていく。

ブックマークした曲を再生するには

- 1 「メイン再生モードを選んで聞く」(21ページ)の手順1と2を行い、手順2で「Bookmark」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回して再生したい曲を選び、▶ENTを押して決定する。  
選んだ曲から順に、最後にブックマークされた曲まで再生されます。

ブックマークを消すには

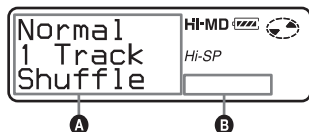
ブックマークを消したい曲を再生し、▶ENTを2秒以上押す。

## サブ再生モードを選ぶ

メイン再生モードで選んだ曲を、いろいろな再生のしかたで聞くことができます。

例えば、メイン再生モードで「Group」を、サブ再生モードで「Shuffle」を選ぶと、選んだグループの中の曲を順不同に再生することができます。

- 1 再生中にメニュー操作で「Play Mode」-「SubPMode」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回してお好みの再生モードを選び、▶ENTを押して決定する。  
ジョグダイヤルをまわすたび **A** が次のように変わり、▶ENTを押す **B** が表示されます。



表示 <b>A/B</b>	再生モード
Normal (表示なし)	通常の再生(全曲を1回再生)
1 Track/1	1曲再生(選んだ1曲のみ再生)
Shuffle/SHUF	シャッフル再生(メイン再生モードで選んだ曲を順不同に再生)
A-BRepeat/ A-(A-B ◀)*	A-Bリピート再生(曲の中のA点とB点を繰り返し再生)

\*メニューモードが「Simple」に設定されているときは表示されません(28ページ)。

## 曲中の指定した部分だけを繰り返し再生する (A-Bリピート再生)

曲の中にA点とB点を指定して、その間を繰り返し聞くことができます。A点とB点は、必ず同一曲内に指定してください。

1 繰り返したい部分を含んでいる曲を再生中に、「サブ再生モードを選んで聞く」(23ページ)の手順1と2を行い、手順2で「A-BRepeat」を選ぶ。「A-」が点滅します。

2 繰り返しを始めた点 (A点) で ▶ENTを押す。  
A点が決定し、「B」が点滅します。

3 繰り返しを終えたい点 (B点) で ▶ENTを押す。  
B点が決定し、「A-B」と「◀」が点灯し、A点とB点の間を再生します。



A-Bリピート再生中に集中コントロールキーを ▶▶側我倒すと、A点、B点を設定し直すことができます。

### ご注意

A点を選んでいる途中でディスクの最後まで再生してしまったときは、A-Bリピートの設定が中止されます。

## 繰り返し聞く (リピート再生)

A-Bリピート再生以外の再生モードのとき、曲を繰り返し聞くことができます。

1 再生中に、メニュー操作で「Play Mode」-「Repeat」を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「RepeatOn」を選び、▶ENTを押して決定する。  
「◀」が点灯します。

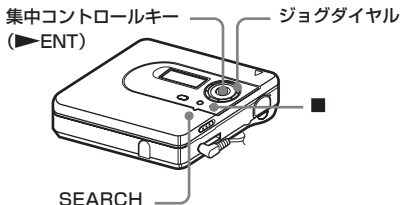
### 解除するには

手順2で「RepeatOff」を選ぶ。



## 曲を探す

曲名、グループ名、アーティスト名、アルバム名から検索して、お好みの曲を簡単に探すことができます。



1 SEARCHを押す。

2 ジョグダイヤルを回して、曲の検索方法を選び、▶ENTを押して決定する。

表示	検索方法
by Track	曲名から検索する
by Group	グループ名から検索する
by Artist*	アーティスト名から検索する
by Album*	アルバム名から検索する

\* Hi-MDモードの場合のみ表示されます。

3 手順2で「by Track」を選んだ場合は手順4へ進む。

それ以外はジョグダイヤルを回してお好みのグループ、アーティスト、アルバムを選び、▶ENTを押して決定する。

選んだグループ、アーティスト、アルバムの中の曲の一覧が表示されます。

4 ジョグダイヤルを回して曲を選び、▶ENTを押して決定する。

選んだ曲の再生が始まります。

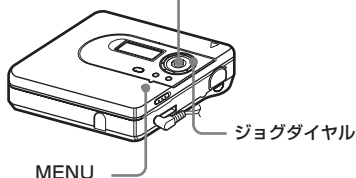
### ご注意

- 手順4のあと、A-Bリピート再生は解除されます。
- 曲の検索中、名前がついていない曲は、曲の一覧の一番最後に表示されます。
- 曲の検索中、グループに属していない曲は「Group - -」としてまとめられ、一覧の一番最後に表示されます。
- 曲の検索中、アーティスト名がついていない曲は「 \_ (空欄)」、アルバム名がついていない曲は「 \_ (空欄)」のみ表示され、まとめて一覧の一番最後に表示されます。
- 選んだ項目を並べ替えている間は、「SORTING」と表示されます。
- 曲の検索中、何も操作をせずに約3分経過すると、検索機能は自動的に解除されます。

## 好みの音にする (6バンドイコライザ)

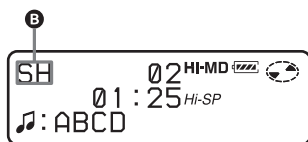
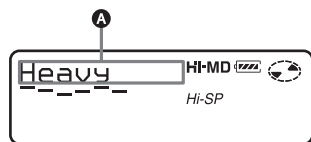
6バンドイコライザは、6種類の音質から好みの音質を選択・設定することができます。

集中コントロールキー (▶ENT, ◀◀, ▶▶)



1再生中、メニュー操作で「Sound」-「Sound EQ」を選択する。

2ジョグダイヤルを回してサウンドの種類を選び、▶ENTを押して決定する。



ジョグダイヤルを回すと **A** が次のように変わり、▶ENTを押すと **B** が表示されます。

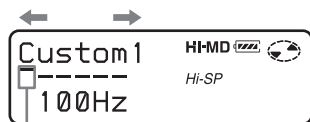
A	B
Heavy	SH
Pops	SP
Jazz	SJ
Unique	SU
Custom1	S1
Custom2	S2

## 好みの音質にする

「Custom1」と「Custom2」には、好みの音質を記憶させることができます。

1「好みの音にする (6バンドイコライザ)」の手順1と2を行い、手順2で「Custom1」または「Custom2」を選ぶ。

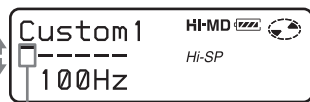
2集中コントロールキーを、または > 側にすらして周波数を選ぶ。



周波数(100Hz)

周波数は次の6つから選べます。  
100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz

3ジョグダイヤルを回してレベルを調節する。



レベル(+10dB)

レベルは次の7段階から選べます。  
-10dB、-6dB、-3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

4 手順2と3を繰り返す。

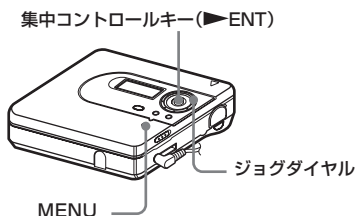
5 ▶ENTを押して決定する。

### 解除するには

手順1で「Sound」 - 「Normal」を選択する。

## 表示されるメニュー項目を変更する(メニューモード)

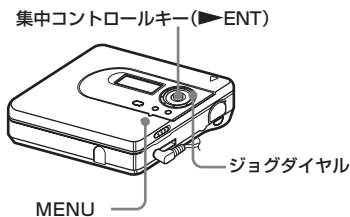
表示されるメニュー項目を全部表示するように設定するか(「Advanced」)、基本的な項目のみを表示するか(「Simple」)を選ぶことができます。表示されないメニュー項目については、「メニュー一覧」(19ページ)を参照してください。



- 1 メニュー操作で「Option」-「Menu Mode」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回して「Simple」または「Advanced」を選び、▶ENTを押して決定する。

## 音もれを抑え耳にやさしい音にする(AVLS-オートボリュームリミッターシステム-快適音量)

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。



- 1 メニュー操作で「Option」-「AVLS」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回して「AVLS On」を選び、▶ENTを押して決定する。  
音量を一定のレベル以上に上げようとすると、表示窓に「AVLS NO VOLUME OPERATION」が表示され、それ以上音量が上がらなくなります。

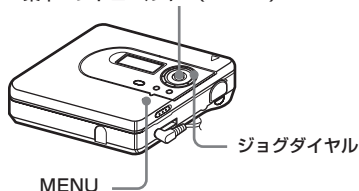
### 設定を解除するには

手順2で「AVLS Off」を選ぶ。

## 確認音を消す

確認音を鳴らす／鳴らさないの設定をすることができます。

集中コントロールキー (▶ENT)



- 1 メニュー操作で「Option」-「Beep」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回して「Beep Off」を選び、▶ENTを押して決定する。

### 設定を戻すには

手順2で「Beep On」を選ぶ。

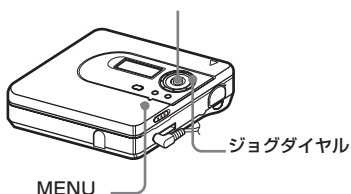
## ディスクごとに設定を記憶する(ディスクメモリー)

本機は、ディスクの設定情報を本体に自動的に登録するように設定されています(お買い上げ時の設定)。この設定にしていると、ディスクを取り出すときに設定情報を自動的に登録し、登録したディスクを再度入れたときに設定情報を自動的に呼び出します。次の設定情報が登録されます。

- ブックマーク
- 6バンドイコライザの「Custom1」「Custom2」

この設定は次の手順で確認することができます。

集中コントロールキー (▶ENT)



- 1 ディスクを取り出してから、メニュー操作で「Option」-「Disc Mem」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回して「On」を選び、▶ENTを押して決定する。

### 記憶させない設定にするには

手順2で「Off」を選ぶ。

### 登録を消すには

- 1 登録から削除したいディスクを入れ、内容を確認する。
- 2 手順2で、「1MemErase」を選ぶ。  
ディスクの設定情報は登録から削除されます。



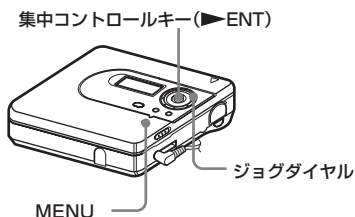
「On」に設定されていると、登録したディスクをいれたときに、「DISC MEMORY」が表示されます。

### ご注意

- 最大でディスク30枚分を登録することができますが、30枚を越えると再生した時期が古いものから自動的に消去されます。登録できるディスク数は、ディスクに録音されている曲数によって異なります。ディスク1枚あたりの曲数が多くなると、登録できるディスク数は少なくなります。
- ディスクメモリーの登録を行ったことがないディスクで、登録の消去を行うと「NO DISC MEMORY」と表示されます。

## すばやく音を聞く (クイックモード)

再生ボタンを押したあとに、すばやく再生音を聞くことができます。



- 1 停止中または再生中に、メニュー操作で「Option」-「Quick Mode」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回して「Quick On」を選び、▶ENTを押して決定する。

### 設定を元に戻すには

手順2で「Quick Off」を選ぶ。

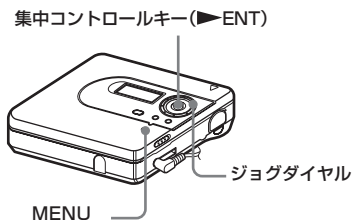
#### ご注意

- 設定を「Quick On」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。
- 何も操作されない状態（ふたの開閉を含む）で、1時間が経過すると、自動的に本体内部の電源が切れます。次に操作したときの動作は遅くなりますが、その後はまたクイックモードになります。

## ディスクモードを選ぶ (ディスクモード)

従来の60/74/80分ディスクがブランクディスクのとき、そのディスクをHi-MD形式にするか、MD形式にするかを選ぶ機能です。

本機をパソコンに接続し、BeatJamで初期化したディスクを、Hi-MDに対応していない他の機器でもお使いになる場合は、ディスクモードを「MD」に設定してください。



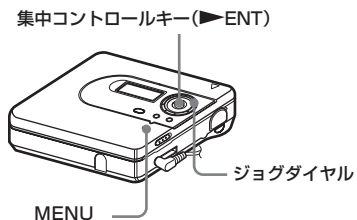
- 1 メニュー操作で「Option」-「Disc Mode」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回して「Hi-MD」（お買い上げ時の設定）または「MD」を表示させ、▶ENTを押して決定する。

#### ご注意

- Hi-MD規格専用1GBディスクをお使いのときも、「Disc Mode」の設定で「MD」を選ぶことができますが、お使いになれる動作モードはHi-MDモードのみです。
- BeatJamで60/74/80分ディスクを初期化した場合、または60/74/80分のブランクディスクの動作モードを選んだ場合でも、そのブランクディスクを本機でお使いになるときの動作モードは、「Disc Mode」の設定に従います。

## 表示窓の濃淡を調節する (コントラスト調整)

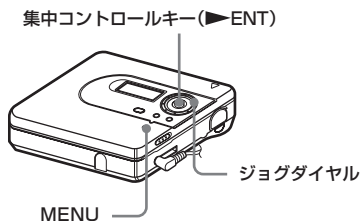
表示窓のコントラストを調節することができます。



- 1 停止中に、メニュー操作で「Option」 - 「Contrast」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回して表示窓の濃淡を選び、▶ENTを押して決定する。

## 表示窓のスクロール方向を変える

お買い上げ時の設定では、ジョグダイヤルを時計まわりに回すと、表示窓の項目が下方向にスクロールしますが、これを上方向にスクロールするように変更することができます。



- 1 メニュー操作で「Option」 - 「Jog Dial」を選ぶ。
- 2 ジョグダイヤルを回して「Reverse」を選び、▶ENT を押して決定する。

### 設定を戻すには

手順2で「Default」を選ぶ。

## パソコンとつないでできること

パソコンと接続して使うには、まず付属のCD-ROMを使ってBeatJamをインストールしてください。インストールのしかたについては、別紙「はじめにお読みください」をご覧ください。

### BeatJamを使う

付属ソフト「BeatJam」を使って以下のことをすることができます。詳しくはBeatJamのヘルプを参照してください。

#### ●本機とパソコンの間で音楽データを転送する

本機とパソコンの間で音楽データをやり取りすることができます。

#### ●CDからパソコンとMDへ同時に録音する

パソコンのCDドライブに入っているCDをパソコン、本機のディスクへ同時に録音することができます。

### 本機内のディスクを記録用媒体として使う

Hi-MDモードでお使いのディスクが入っているときは、パソコンの外部機器として、Windowsのエクスプローラ上で確認することができます。テキストデータや画像データなどをディスクに保存することができます。詳しくは、「音楽データ以外のディスクを保存する（データストレージ）」(34ページ)をご覧ください。



ソフトウェア上で曲を再生すると、Hi-MDモードでお使いのディスクが本機に入っている場合はパソコンのスピーカーから、MDモードでお使いのディスクが本機に入っている場合は本体につながっているヘッドホンから、再生音が聞こえます。

## パソコンに接続する

本機とパソコンをつなぐときは、下記の手順で行ってください。

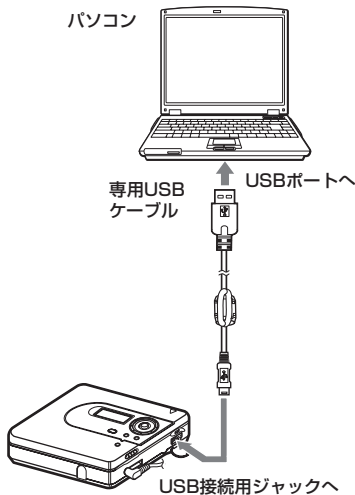
### ご注意

Windows ME/98SEをお使いの場合

- 本機のディスクモードが「Hi-MD」に設定されている状態（お買い上げ時の状態）でパソコンに接続し、60/74/80分のブランクディスクを入れると、何も録音／記録しなくてもHi-MD形式のディスクになることがあります。
- 専用USBケーブルを抜いたとき、パソコンに「デバイス取り外しの警告」というメッセージが表示されますが、問題はありません。「OK」をクリックして表示を消してください。

パソコンのUSBポートから電源が供給され、本体の電池を消費させることなく使うことができます（バスパワー接続）。

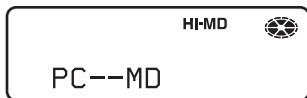




1 本体に録音用ディスクを入れる。

2 本体が停止していることを確認し、ホールドを解除して、本体とパソコンを専用USBケーブルでつなぐ。

3 正しく接続されたことを確認する。  
正しく接続されると、本体の表示窓に「PC -- MD」と表示されます。



### 専用USBケーブルを抜くときは

必ず下記の手順で行ってください。この手順で行わないと、データが破壊することがあります。

1 表示窓に「REC」が消えていることを確認する。

2 本体の ■ を押す。

表示窓に「EJECT DISC OK」と表示が出ます。

場合によっては、「EJECT DISC OK」が表示されるまでに時間がかかることがあります。

3 専用USBケーブルを抜く。

### ディスクを取り出すときは

1 「専用USBケーブルを抜くときは」(上記)の手順1、2を行う。

2 ディスクを取り出す。

#### ご注意

- パソコンに接続して使うときは、停電や専用USBケーブルが抜けてしまうなど、不慮の事故に備えて十分に新しい乾電池を入れておくことをおすすめします。不慮の場合の不具合や、音楽データの転送の失敗、音楽データの破壊などについては保証いたしませんのでご注意ください。
- 本体から専用USBケーブルを抜いた後に再び接続するときは、2秒以上経過してから接続してください。
- 振動のない安定した場所でお使いください。
- 本機で再生をしているときは、パソコンと接続しないでください。
- パソコンと接続中に、パソコンでシステムサスペンド、スリープ(スタンバイ状態)、システムハイバネーション(休止状態)のモードへ移行すると、不具合が生じることがあります。自動的に移行する設定は避けてください。
- USBハブを介して、本機とパソコンを接続しないでください。
- 推奨環境の全てのパソコンについて動作保証するものではありません。

## 音楽データ以外のデータをディスクに保存する (データストレージ)

Hi-MDモードでお使いのディスクが入っている状態で本機をパソコンにつなぐと、外付けの記憶媒体として認識され、音楽データ以外のデータ（テキストデータや画像データなど）をディスクに保存することができます。

各ディスクの容量について詳しくは、次ページをご覧ください。

Windowsでは、Hi-MDモードでお使いのディスクを本体に入れ、パソコンに接続すると、エクスプローラ上で、外部機器として認識されます。他のデバイスと同じようにお使いください。

### ご注意

- BeatJamが起動しているときは、外部機器として認識されません。
- Windowsパソコンでディスクをフォーマット（初期化）するときは、必ずBeatJam上でフォーマットしてください。
- エクスプローラ上で、ファイル管理フォルダ（HMDHIFIフォルダ、HI-MD.INDファイル）を削除しないでください。

## ディスク別ディスク容量 (本体/BeatJamで初期化した場合)

ディスクの種類	総容量	ディスク管理容量*	空き容量
60分ディスク	219 MB (229,965,824バイト)	832 KB (851,968バイト)	218 MB (229,113,856バイト)
74分ディスク	270 MB (283,312,128バイト)	832 KB (851,968バイト)	269 MB (282,460,160バイト)
80分ディスク	291 MB (305,856,512バイト)	832 KB (851,968バイト)	290 MB (305,004,544バイト)
Hi-MDディスク	964 MB (1,011,613,696バイト)	832 KB (851,968バイト)	963 MB (1,010,761,728バイト)

\* ディスク管理容量とは、ディスク内のファイルを管理している領域の容量です。

\* ディスク管理容量は、使用条件などによって容量が変化します。そのため、エクスプローラ上で表示される空き容量に対して、実際に使用できる空き容量が減少することがあります。

## 使用上のご注意

### 分解しないでください

ミニディスクプレーヤーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

### レンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。また、ほこりがかからないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

### 取り扱いについて

- 落とししたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりがたがゆっくりになることがあります。常温に戻れば元に戻ります。
- 読み込み中や書き込み中にディスクを抜いたり、専用USBケーブルを抜いたりしないでください。正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。

### 温度上昇について

長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

## 動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がありますが故障ではありません。

## ディスクの取り扱いについて

- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

- シャッターを手で開けない  
無理に開けると壊れます。



シャッター カートリッジ

- 持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる
- 置き場所について  
直射日光があたる場所など温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。
- 定期的にお手入れを  
カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。
- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせてしっかり貼ってください。

## ヘッドホンについて

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師に相談してください。
  - 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎても周りの人に迷惑にならないように気をつけましょう。
- 雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

## お手入れについて

### 表面が汚れたときは

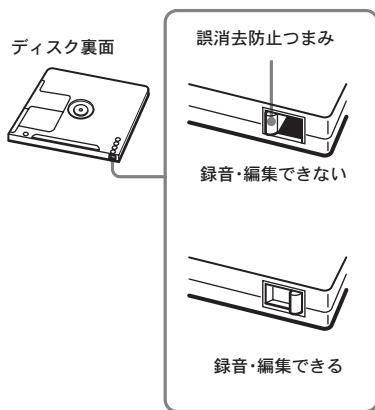
水気を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

### ヘッドホンのプラグのお手入れ

プラグが汚れていると雑音や音切れの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。

## 誤消去防止つまみについて

録音したものを誤って消さないために、誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。つまみをずらして穴が開いた状態になると、録音・編集ができません。録音・編集するときにはつまみを閉めます。



万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

# 主な仕様

最新の製品情報や対応機種についてはカタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

## 形式

ミニディスクデジタルオーディオシステム

## 録音方式

磁界変調光学方式

## 再生読み取り方式

非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

## レーザー

GaAlAsMQWダイオード、  
 $\lambda = 790\text{nm}$

## 録音再生時間

「1枚のディスクに録音できる時間は？」  
(50ページ) 参照

## 回転数

約350rpm~3,000rpm(CLV)

## エラー訂正方式

Hi-MD :  
LDC (Long Distance Code) /  
BIS (Burst Indicator Subcode)  
MD :  
ACIRC (Advanced Cross  
Interleave Reed Solomon Code)

## サンプリング周波数

44.1kHz

## 対応オーディオフォーマット

リニアPCM (44.1kHz/16ビット)  
ATRAC3plus (Adaptive  
TRansform Acoustic Coding 3  
plus) (Hi-SP、Hi-LP)  
ATRAC3  
ATRAC  
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3/  
サンプリング周波数44.1kHz/ビ  
ットレート32-320kbps (固定/可変  
ビットレート))

## 変調方式

Hi-MD :  
1-7RLL (Run Length Limited) /  
PRML (Partial Response  
Maximum Likelihood)  
MD:  
EFM (Eight to Fourteen  
Modulation)

## 周波数特性 (ヘッドホン出力時)

20~20,000Hz  $\pm 3\text{dB}$

## 出力端子

Ⓞ : ステレオミニジャック

## 実用最大出力 (DC時)<sup>1)</sup>

ヘッドホン : 5mW + 5mW (16 $\Omega$ )

## 電源

アルカリ乾電池 (単3形) 1個 (市販品)

## 動作温度

+5 $^{\circ}\text{C}$  ~ +35 $^{\circ}\text{C}$

## 電池持続時間<sup>1)</sup>

「電池の持続時間」(15ページ) 参照

## 本体寸法

約83.6 × 28.9 × 77.0mm  
(幅/高さ/奥行き、突起部含まず)

## 最大外形寸法<sup>1)</sup>

約84.2 × 30.4 × 77.6mm  
(幅/高さ/奥行き)

## 質量

約99g (本体のみ)  
約123g (乾電池含む)

<sup>1)</sup> JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製造年は、ふたを開けた内側に表示されています。

---

# MEMO

その  
他

## 故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、弊社サポートセンターにご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。(メッセージ一覧(45ページ)も合わせてご覧ください。)メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

### 手順1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。  
また、本書の手順の中や「メッセージ一覧」にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

### 手順2 バッファローのホームページで調べる

buffalo.jp で調べる。  
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

### 手順3 それでもトラブルが解決しないときは

弊社サポートセンターまたはお買い上げ店にご相談ください。



## 再生中

症状	原因	対策
通常の再生ができない。	リピート再生を指定している。	リピート再生の設定を「RepeatOff」にして再生してください(24ページ)。
	再生モードを変えた。	メイン再生モード(21ページ)やサブ再生モード(23ページ)を、通常の再生に戻してから再生を始めてください(21ページ)。
ディスクの1曲目から再生しない。	前回再生したときディスクの途中で止めた。	一度停止させ、集中コントロールキー(▶ENT)を、2秒以上押し続けたままにしてください。
再生中に音がとぎれる。	振動の多い場所に置いている。	振動の少ない場所で使ってください。
	1曲の録音時間が極端に短い。	短いトラック(曲)を作らないでください。
瞬間的な雑音が聞こえる。	LP4(4倍モード)でステレオ録音された音を再生している。	LP4(4倍モード)でステレオ録音された音を再生した場合、圧縮方式の特性により、ごくまれに瞬間的な雑音が聞こえることがあります。
雑音が多い。	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置いてください。
音が大きくならない。	AVLSが働いている。	AVLSの設定を解除してください(28ページ)。
ヘッドホンから音が出ない。	ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	⌋ジャックにしっかり差し込んでください。
	プラグが汚れている。	ヘッドホンのプラグ部分を乾いた布などで拭いてください。
他の機器でディスクが再生できない。	Hi-MDに対応していない機器で再生しようとした。	Hi-MDディスクはHi-MD対応の機器でのみ再生することができます。
編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音かとぎれる。	システム上の制約です。再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、音かとぎれることがあります。(51ページ)	—
ラジカセやアンプなどを使って録音したものを再生をする、またはラジカセやアンプなどをつないで再生をすると、片方の音が出ない。	ラジカセやアンプなどにモノラルのコードを使って接続すると、片方(Rチャンネル)の音が出ません。	必ずステレオのコードを使ってください。接続先の機器がモノラル仕様の場合は、ステレオのコードを使っても片方(Rチャンネル)の音は出ません。
MP3の曲が再生できない。	本機で対応していないMP3の曲を再生しようとした。	本機で再生できるMP3の曲は、BeatJamを使って転送したMPEG-1 Audio Layer-3/サンプリング周波数44.1 kHzの曲のみです。

## グループ機能中

症状	原因	対策
グループ機能が働かない。	グループがないディスクが入っている。	グループがあるディスクを入れてください。

## パソコンとの接続中

症状	原因	対策
本機がパソコンに認識されない。	専用USBケーブルがきちんと接続されていない。	専用USBケーブルをきちんと接続してください。
	USBハブを使用している。	パソコンのUSB端子に直接接続してください。
	通信に失敗している。	専用USBケーブルを抜き、2秒以上経過してからもう一度接続してください。それでも認識されない場合は、接続をはずし、パソコンを再起動させてから接続し直してください。
正常に動作しない。	Windows 2000 Professionalをお使いの場合、本機と接続したままでパソコンの電源を入れたり再起動して、その後専用USBケーブルを抜くと、次に接続した際に、本機がパソコンに認識されないことがあります。	パソコンの電源を入れる、または再起動するときは、本機と接続している専用USBケーブルを抜いてから行ってください。 専用USBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから本機を接続してください。 Windows Updateを行って、Windowsを最新にすると、問題が解消されることがあります。
	USBハブを使用している。 振動のある場所で使っている。	パソコンのUSB端子に直接接続してください。 振動のない、安定した場所で使ってください。
音楽データ以外のデータを保存できない。	BeatJamが起動している。	BeatJamを終了してから操作してください。
	Hi-MDモード設定でないディスクが入っている。	Hi-MDモード設定のディスクを入れてください。Hi-MDモード設定のディスクのみ音楽データ以外のデータを保存できます。
パソコンから転送した曲の演奏時間がパソコン上の演奏時間と一致しない。	本体とパソコンの計算誤差です。	—

症状	原因	対策
ディスクの録音可能時間いっぱい音楽データを転送できない。(例: 80分ディスクに対してLP2ステレオ録音で160分転送できない。)	システム上の制約です。録音は、何秒かの単位でされるため、短い曲をたくさん録音すると、いわゆる「無駄な」録音部分が増えて、合計時間とあわなくなります(51ページ)。	—
パソコンで表示されるディスクの容量と、ディスクに表示されている容量に差がある。	ディスク容量は、パソコン上では2進法で表現されますが、ディスクなどの記録媒体では10進法で表現されるため、差が生じます。ディスク容量について詳しくは35ページをご覧ください。	—
本体の操作ができない。	パソコンと接続しているときは、本体を操作することができません。	—
本体の操作ができない(表示窓に「PC -- MD」が表示される)。	パソコンと接続しているときは、本体を操作することができません。	—
ふたが開かない。	本体に乾電池が入っていない状態、または乾電池が消耗している状態で、パソコンからの転送中に専用USBケーブルをはずした。	専用USBケーブルをつなぐ、または新しい乾電池を入れ、■を押す。

## その他

症状	原因	対策
表示窓に「Advanced」または「Simple」と表示されている。	お買い上げ後、はじめてメニュー操作をしようとした。	メニューモードを設定してください(18、28ページ)。
表示されないメニュー項目がある。	メニューモードが「Simple」になっている。	メニューモードを「Advanced」に設定して、すべてのメニュー項目を表示させてください(28ページ)。

症状	原因	対策
操作を受けつけない、または正しく動作しない。	音量が小さくなっている。	音量を上げる。
	ディスクが入っていない。	録音済みのディスクを入れてください。
	ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る）。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください(12、14ページ)。
	ふたがしっかりと閉まっていない。	カチッと音がするまでふたを閉めてください。
	結露している（本機を寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などに、内部に水滴が付着している）。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おいてください。
	電池が消耗している（「LOW BATTERY」表示が点滅または何も表示されない）。	新しい乾電池と取り換えてください。
液晶表示が通常表示と違う。	損傷しているディスク、または録音や編集の内容などの情報が正しく入力されていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおしたり、録音しなおしてください。それでもエラー表示が出るときは、他のディスクと取りかえてください。
	内部システムが誤動作している。使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けている。	次の手順で操作しなおしてください。 1 すべての電源をはずし、専用USBケーブルを抜く。 2 約30秒間そのままにする。 3 電源をつなぐ。
60/74/80分ディスクがBeatJamで初期化した、または選択した動作モードになっていない。	電源を抜いた。	しばらく放置する。または電源を入れていずれかの操作ボタンを押してください。
60/74/80分ディスクがBeatJamで初期化した、または選択した動作モードになっていない。	60/74/80分のブランクディスクを本機でお使いになる場合、動作モードはメニューの「Disc Mode」の設定に従います。	メニューの「Disc Mode」で希望の動作モードに設定してください(30ページ)。

## メッセージ一覧

表示窓にメッセージが出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味	対策
AVLS NO VOLUME OPERATION	AVLSの設定が「AVLS On」になっているので、これ以上音量をあげられない(28ページ)。	AVLSの設定を「AVLS Off」にしてください。
BLANKDISC	何も録音されていないディスクが入っている。	—
BUSY WAIT A MOMENT	ディスクの情報を読んでいる。録音または編集の内容の処理をしている。	しばらく待ってください。まれに1分ほどかかる場合があります。
CANNOT PLAY	再生制限がかかっている曲を再生しようとした。  本機で対応していないMP3の曲を再生しようとした。	—  本機で再生できるMP3の曲は、BeatJamを使って転送したMPEG-1 Audio Layer-3/サンプリング周波数44.1 kHzの曲のみです。
CANNOT RECORD OR PLAY	再生できる音楽データが入っていない。音楽データまたは管理ファイルが壊れている。	他のディスクと取りかえてください。またはBeatJamでディスクを初期化してください。
DATA SAVE	録音や編集した内容をディスクに書き込んでいる。	しばらく待ってください(衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない)。
DISC FULL	ディスクの残り時間が48秒以下の場合、録音できないことがある(録音時)。	他の録音用ディスクと取り換えてください。
EJECT DISC OK	パソコンとの通信が終了したため、ディスクを取り出したり専用USBケーブルをはずしても安全です。	—
END	再生中または再生一時停止中に、集中コントロールキーを▶▶側へ倒してディスクの最後まで到達した。	—
ERROR	内部システムが誤動作している。	44ページ表中の手順1~3を行ってください。
ERROR XX	内部システムが誤動作している。呼び出しに失敗した。	44ページ表中の手順1~3を行ってください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、弊社サポートセンターへご相談ください。

表示	意味	対策
FORMAT ERROR DISC	本機が対応していないフォーマットのディスクが挿入された。	MDまたはHi-MDフォーマットのディスクを入れてください。
	パソコンでフォーマットされたディスクが挿入された。	パソコンでフォーマットするときは必ずBeatJamを使ってフォーマットしてください。
HOLD	ホールド機能が働いている。	本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください(12、14ページ)。
LOW BATTERY	電池が消耗した。	新しい乾電池と取り換えてください。
NO BOOKMARK TRACK	ブックマークがついていないディスクでブックマーク再生をしようとした。	ブックマークをつけてから(23ページ) 操作してください。ブックマークがついているディスクで操作してください。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
NO DISC MEMORY	ディスクメモリーを登録していないディスクでディスクメモリーを削除しようとした。	—
NO TRACK	何も録音されていないディスクを再生しようとした。	録音済みのディスクを入れてください。
PC -- MD	コンピュータに接続されている。	コンピュータとの接続をはずしてください(33ページ)。
PROTECTED DISC	ディスクが誤消去防止状態になっている(37ページ)。	誤消去防止つまみを戻してください。
PUSH STOP BUTTON	専用USBケーブルが接続されている状態で、本機がディスクの情報を記録しているときに、OPENつまみをずらしてふたを開けようとした。	操作は、「SYSTEM FILE WRITING」が消えてから行ってください。
READ ERROR	ディスクの情報を正しく読み取れなかった。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
SYSTEM FILE WRITING	録音した情報(曲の開始・終了位置など)をディスクに記録している。	しばらく待ってください(衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない)。
TEMP OVER REC STOP	録音中、本機の温度が高くなりすぎたため、録音を停止した。	ディスクを入れ直してください。
TOC DATA ERROR	ディスク情報を正しく読み取れなかった。	他のディスクと取りかえてください。

---

# MEMO

## 知っておくと便利です

ここではポータブルMDプレーヤーをお使いになる際に知っておくと便利な情報を、Q&A形式で簡単に説明します。

### Q1: Hi-MDとは？

**A1:** Hi-MDとは、新しいミニディスクのフォーマットです。

従来のミニディスクから、ディスクの記録方式を変え、更に長時間の録音が可能になりました。また、パソコンの外部機器として、音楽データ以外のデータ（例えば、テキストデータや画像データ）もミニディスクに記憶することができるようになりました。

### Q2: ATRAC3plusとは？

**A2:** ATRAC3plusとは、ATRAC3を更に発展させたオーディオ圧縮技術です。

これまでのATRAC3（本機のLP2/LP4ステレオモード）の圧縮率が、CDの1/10だったのに対し、ATRAC3plus（本機のHi-SP/Hi-LPステレオモード）はCDをベースに比較すると、1/20という高い圧縮率かつ高音質を実現しています。

### Q3: Hi-MDモードとMDモードとは？

**A3:** 本機は「Hi-MDモード」と「MDモード」の2つのモードを持っています。動作モードは挿入されたディスクによって切り替わります。

- ・ Hi-MD規格専用1GBディスクを入れた場合は、自動的にHi-MDモードになります。
- ・ 従来の60/74/80分ディスクを入れた場合は、次のようになります。

ディスクの種類	動作モード
ブランクディスク	メニューの「ディスクモード」*の設定に従います。
Hi-MDモードで録音されたものが入っているディスク	Hi-MDモード
MDモードで録音されたものが入っているディスク	MDモード

\* ディスクモードについて詳しくは「ディスクモードを選ぶ」(30ページ)をご覧ください。

### Q4: リニアPCMとは？

**A4:** デジタル圧縮しない音声記録方式です。この方式で録音すると、CDと同じ音質を楽しむことができます。



**Q5: 「システムファイル」とは？****A5:** 音声以外の情報を記録するミニディスク上の領域です。

どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。

録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などの際、ミニディスクレコーダーはシステムファイルの書き換え作業を行います（この間は表示窓に「システムファイルの書込み中です」が表示されます）。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われなければかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

**Q6: サンプリングレートとは？****A6:** サンプリングレートとは、1秒間の音声をどれだけ量のデジタル信号にするかを表す数値です。

一般に数値が大きいほど高音質になります。

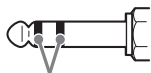
**Q7: Net MDとは？****A7:** パソコン内に入っている音楽データを、USBケーブルを介してミニディスクに録音できる規格です。

従来のMDが録音できる音源の種類は、マイクやアナログ入力からのアナログ音源または、音楽CDなどからのPCM音源のみだったため、パソコンからの録音は不可能でした。しかし、「OpenMG」<sup>1)</sup>と「MagicGate」<sup>2)</sup>という著作権保護技術に基づいた音楽管理ソフト（BeatJamなど）を使って「ATRAC」<sup>3)</sup>、「ATRAC3」<sup>3)</sup>という音楽データの形式に変換することにより、MDへの録音が可能となりました。

<sup>1)</sup> パソコンに取り込まれたCDなどの音楽データを管理するための著作権技術

<sup>2)</sup> パソコンとNet MD機器の間で、お互いが著作権保護に対応しているかの認証を行う技術

<sup>3)</sup> 従来のMDの録音時に変換される形式

**Q8: ステレオプラグとモノラルプラグの見分けかたは？****A8:** ステレオプラグ:  
絶縁の帯が2つ

絶縁の帯

モノラルプラグ:  
絶縁の帯が1つ

絶縁の帯

## Q9: 1枚のディスクに録音できる時間は？

**A9:** ディスクの種類と転送モードによって録音時間は異なります。次の表で録音時間を確認してください。

### Hi-MDモードでお使いの場合

転送モード	録音時間 <sup>1)</sup>			
	Hi-MD規格専用1GBディスク	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
コーデック/ビットレート				
リニアPCM/1.4Mbps	約1時間34分	約28分	約26分	約21分
ATRAC3plus/256kbps	約7時間55分	約2時間20分	約2時間10分	約1時間40分
ATRAC3plus/64kbps	約34時間	約10時間10分	約9時間20分	約7時間40分
ATRAC3plus/48kbps	約45時間	約13時間30分	約12時間30分	約10時間
ATRAC3/132kbps	約16時間30分	約4時間50分	約4時間30分	約3時間40分
ATRAC3/105kbps	約20時間40分	約6時間10分	約5時間40分	約4時間40分
ATRAC3/66kbps	約32時間40分	約9時間50分	約9時間	約7時間20分
MP3/128kbps	約17時間	約5時間	約4時間30分	約3時間30分

<sup>1)</sup> 1曲4分の曲を転送した場合

### MDモードでお使いの場合

転送モード	録音時間 <sup>1)</sup>		
	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
コーデック/ビットレート			
ステレオ転送ATRAC/292kbps	約1時間20分	約1時間14分	約1時間
ATRAC3/132、105kbps	約2時間40分	約2時間28分	約2時間
ATRAC3/66kbps	約5時間20分	約4時間56分	約4時間

<sup>1)</sup> 1曲4分の曲を転送した場合

## Q10: 録音できるMDフォーマットは？

**A10:** ディスクの種類によって異なります。次の表で確認してください。

ディスク	フォーマット	再生する機器		
		Hi-MD対応機器 <sup>1)</sup>	MDLP対応機器 <sup>2)</sup>	MD機器
Hi-MD規格専用1GBディスク	Hi-MD	○	×	×
	Hi-MD	○	×	×
60/74/80分ディスク	Hi-MD	○	×	×
	MDLP	○	○	×
	MD	○	○	○

<sup>1)</sup>  または  のある機器

<sup>2)</sup>  または  のみある機器

**Q11: 編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれるのはなぜ?**

**A11:** システム上の制約です。

再生しながら早送り、早戻しするときには通常より高速で再生するため、短い曲がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

**Q12: 曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えないのはなぜ?**

**A12:** システム上の制約です。

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下(SP録音時)、24秒以下(LP2録音、モノラル録音時)、または48秒以下(LP4録音時)の部分は無視します。このため短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

**Q13: ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しないのはなぜ?**

**A13:** システム上の制約です。

通常、録音はSP録音時で約2秒、LP2録音またはモノラル録音時で約4秒、LP4録音時で約8秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒(4秒または8秒)に満たない場合でも約2秒(4秒または8秒)分のスペースを使います。また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約2秒(4秒または8秒)分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒(12秒または24秒)ずつ短くなります。

# 索引

## あ行

お手入れ 37

## か行

確認音 29  
クイックモード 30  
グループ  
再生 22  
検索 25  
コントラスト 31

## さ行

再生モード  
メイン 21  
サブ 23  
リピート 24  
サンプリングレート 49  
集中コントロールキー 12  
しおり 23  
ジョグダイヤル 12  
接続  
パソコン 32

## た行

ディスクメモリー 29  
ディスクモード 30  
データの保存 34  
電池  
持続時間 15

## は行

パソコン 32  
表示 20  
ブックマーク  
再生 23  
追加 23  
ホールド 12、14

## ま行

メニュー一覧 19  
メニューモード 28

## ら行

リニアPCM 48

## アルファベット・数字

ATrac3plus 48  
AVLS 28  
Hi-MD 4、48  
Net MD 49  
USB専用ケーブル 33  
6バンドイコライザ 26

---

**MD-HUSB取扱説明書**

2005年4月21日 初版発行  
発行 株式会社バッファロー

